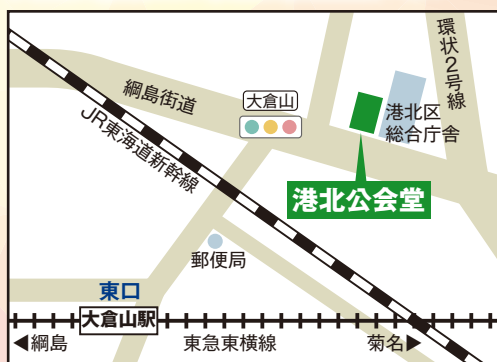


発災時の トイレ問題 について

参加費用
無料

過去に発生した大地震では、水や食料のことだけではなく、トイレのことも課題となりました。
自宅の水洗トイレは、断水や下水道管の破損により、突然使えなくなってしまうかもしれません。
個人でトイレの備えがないと、「トイレに行きたい」と思った時に、自宅から外に出てトイレを探しに行く必要がありますので、トイレの重要性を学びながら、災害への備えを進めていきましょう。

令和8年2月15日(日)
10:00~11:00(9:30開場)
港北公会堂ホール(港北区大豆戸町26-1)



- 東急東横線「大倉山駅」より
徒歩約7分
- JR横浜線・横浜市営地下鉄
「新横浜駅」より横浜市営バス・
川崎鶴見臨港バスで約7分
「港北区総合庁舎前」下車
徒歩約1分

●定員
先着500名様(事前申込制) ※車いすスペースあり

●募集期間
令和8年1月6日(火) 9:00~
2月13日(金) 17:00
※手話通訳を希望される方は、1月22日(木)までにお申込みください。

●お申込み方法
横浜市電子申請・届出システム(先着順)



お申し込みは
こちら



講師
特定非営利活動法人日本トイレ研究所
代表理事 加藤 篤氏

まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。
災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。
「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。